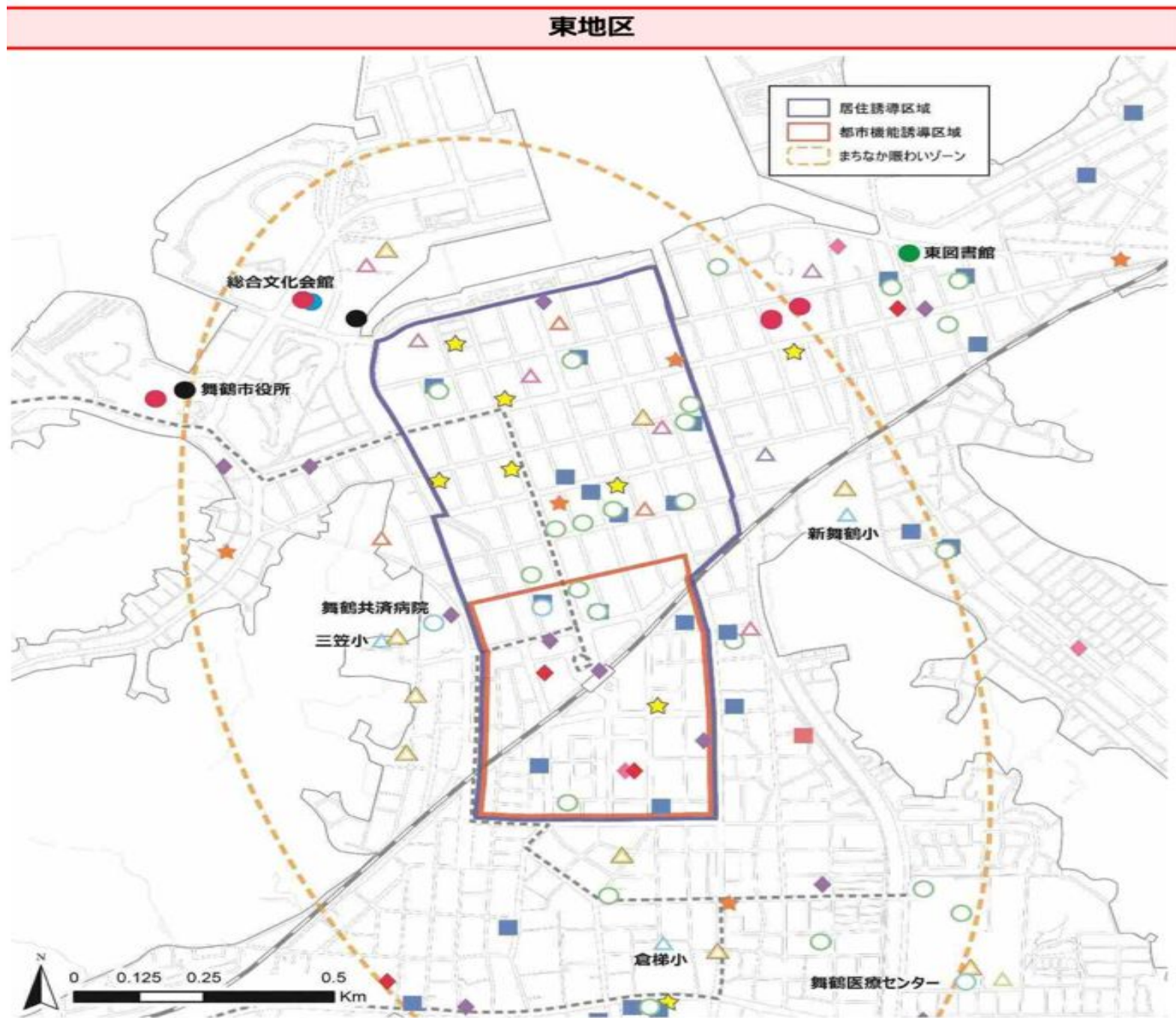


資料①



なぜ、舞鶴が選ばれたのか？



水資源 (Water)

豊富な地下水と「真名井の清水」のブランド価値。飲料製造に最適な水質と水量を確保。



電力・補助金 (Power)

データセンター運営に不可欠な安定した電力供給基盤。電源立地地域特有の「F補助金」によるランニングコスト低減。



防災・安全性 (Resilience)

太平洋側に比べ地震リスクが低い安定した地盤。企業のBCP（事業継続計画）拠点として高い評価。

舞鶴市の地理的・社会的強みが、飲料製造とデータセンターの戦略的拠点として選ばれた理由です。

理由1 国内外に広がるビジネスネットワーク

全通した舞鶴若狭道、京都縦貫道から全国の高速道路網に直結。また関西経済圏唯一の日本海側重要港湾である京都舞鶴港は東アジア地域とのゲートウェイ機能を有しており、物流・人流、情報拠点としての期待が集まっています。

- 充実の高速道路網により、京阪神、中京圏、北陸へのアクセスが格段に向上（市内には舞鶴西、舞鶴東、舞鶴大江の3ヶ所のインターチェンジがあり、高速道路までのアクセスも容易）
- 小樽港へのフェリーは毎日出航（約21時間）
- 日本海拠点港である「京都舞鶴港」の地理的優位性を活かした国際航路の開設

世界と繋がる
物流ネットワーク



舞鶴市へのアクセス

東京	大阪	神戸	名古屋
【車】1時間45分 【鉄道】1時間30分	【車】2時間 【鉄道】2時間30分	【車】1時間50分 【鉄道】2時間30分	【車】2時間30分 【鉄道】3時間

※京都、大阪、神戸からは高速バスも運行

舞鶴市
ホームページ引用

市内立地の食品加工企業の場合



理由2 魅力的な立地環境

ひと・まちが輝く 未来創造・港湾都市 MAIZURU

概要

- 人口:80,721人
- 世帯数:34,360世帯
- 総面積:342.13km²
- 保育所・幼稚園:28ヶ所
- 高等教育施設:
・高等学校4校
・舞鶴工業高等専門学校
・京都職業能力開発短期大学校
- 製造品出荷額:1,852億円
- 事業所:106社
- 従業員数(工業):4,032人
(出典:平成30年舞鶴市統計書)

リアス式海岸と山の緑のコントラストが美しい舞鶴湾の豊かな自然に恵まれ、一方で京阪神の主要都市から100キロ圏と利便性が高く、相反する特徴が大きな魅力となっています。また、近年ではクルーズ客船の受入港として内外から注目を集めています。

舞鶴市での暮らし

《短い時間でゆとりのある生活》市内間の移動は車・公共交通機関では45分以内と、帰宅後も家族と過ごしたり趣味を楽しむプライベートな時間が充実
《子育て世代にやさしいまち》待機児童ゼロ、中学卒業までを対象とした子育て支援医療費助成制度、子育て交流施設「あそびあむ」を核とした子育て施設やサポート体制が充実
《便利な買い物環境》スーパーマーケットやコンビニ、ドラッグストア、家電量販店、商店街、大型ショッピングセンター、地元野菜の直売所など幅広い買い物に対応
《週末はレジャー施設や公園でリフレッシュ》体育館やテニスコートなどのスポーツ施設、ファミリーでも楽しめる釣り場や自然あふれるレジャー施設を設置

- 主な製造業企業 日本板硝子㈱、ジャパンマリンユナイテッド㈱、丸玉木材㈱、日立造船㈱
- 近年の新規立地企業 ケンコーマヨネーズ㈱、和幸産業㈱、南あさり漬食品工業㈱YASAI

子育て環境

0歳から15歳まで切れ目ない質の高い教育の充実を推進しています。



医療機関

公的4病院がそれぞれ特徴的な機能を有し、互いに連携し、まるで「ひとつの病院」のように機能。



レジャー・スポーツ

普段利用できる体育館や広い公園、釣りができるスポット等が数多くあります。



ショッピング

商店街はもちろんショッピングセンターなどが住宅地の近くにありま。

